

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
国際トータルファッション専門学校		昭和51年4月1日	関川 政春		〒951-8063新潟県新潟市中央区古町通7番町935NSGスクエア内3F (電話) 025-226-6601		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人国際総合学園		昭和32年10月10日	理事長 池田 弘		〒951-8065新潟市中央区東堀通1番町494番地3 (電話) 025-210-8565		
目的	ファッションデザイン科 目的:デザイン・パターン・縫製技術の専門性の高い人材を育成しアパレル産業に貢献できる人材を輩出することを目指す。当専門課程を通じアパレル産業の発展に寄与することが設置の目的である。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
服飾・家政	服飾・家政専門課程	ファッションデザイン科		平成22年文部科学大臣告知第152号	—		
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3015	480	720	1815	0	0
生徒総定員	生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数		
90人	43人	4人		2人	6人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ■成績評価の基準・方法について 科目ごと課題・試験を行い点数うてランク付け		
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:7月27日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■春季:3月19～4月14日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		・出席率が年間授業時間の80%以上になること ・制作課題の規定基準を充たすこと ・当該年度の学費および諸経費を完納すること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 保護者連絡・メール・家庭訪問など		課外活動		■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 アパレル業界 ■就職率*1 76名:76名 100% ■卒業者に占める就職者の割合*2 74名:83名 91.5% ■その他 未内定者9名のうち進学者6名 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等		■パターンメイキング検定 ■色彩検定 ■パーソナルカラー検定 ■ファッション販売検定 ■ファッションビジネス検定		
中途退学の現状	■中途退学者 5名 平成26年4月1日 在学者 186名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 181名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 目的意識学習意欲の低下・進路変更 ■中退防止のための取組 実践行動学モチベーション学の実施・外部スクールカウンセリング制度		■中退率 2.6%				
ホームページ	URL: http://www.nitf.jp/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。
「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

■ファッションデザイン科ではアパレル業界で活躍できるデザイナー・パタンナーの人材輩出を目指している。現在のアパレル業界では高い縫製技術力やデザイン・パターン力が求められるまた現場で売れる洋服作りや販売促進など一連の流通を知ることも求められている。ファッションデザイン科ではこれらに必要な知識・技術を学べるカリキュラムを編成している。時代の変化に即し、より専門的な能力を育成するため教育課程編成委員会を開設。専門分野の企業が委員として参画し連携することで職業に必要な能力を育成するため、
教育課程の編成において実践的な職業教育の質の確保を行う
(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名前	所属
高橋 雅文	新潟県ニット工業組合
市原 昌顕	有限会社アールセット
下鳥 直之	有限会社VTM

(開催日時)

第1回 平成26年11月28日 13:00~13:30

第2回 平成27年2月8日 17:00~17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

■アパレル業界の求める人材育成要請を十分に活かしデザイナー・パタンナーに必要な実践的な能力を育成するために産学連携の推進を図る。

■実習・実技においてはアパレル企業との密接な連携を行うことで実践的な職業教育の質の確保を行う。

■企業との連携内容については教育課程編成委員会の会議にて意見を反映する。

科目名	科目概要	連携企業等
アパレル企画Ⅱ	商品の企画を外部講師指導のもとデザイン・制作・外部販売までを行います。	新潟県ニット工業組合・有限会社アールセット・有限会社VTM

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

■本校の教員は専門分野において、最新の実務の知識経験を教育内容・教育方法に反映した教育を行うことが期待されている。そのため法人本部、学校内、および外部機関との連携の下、職業に関連した知識・技術・技能ならびに授業および学生に対する指導力等の修得・向上のための組織的な研修機会を確保する。

■担当教員においては、下記の分野に関する専門性の維持と向上を図る

- ・デザイン・パターン・縫製などの研修への参加と実施
- ・新人者を対象とした教育力研修及びフォローアップ研修
- ・学校内で実施する授業見学および意見交換

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年3月31日現在

名前	所属
理事長 高橋 雅文	新潟県ニット工業組合
理事長 三本泰輔	見附ニット工業協同組合
理事長 陶山 務	栃尾ニット工業協同組合
大関 剛明	金録ニット株式会社

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.nitf.jp/information/index.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.nitf.jp/information/index.html>

授業科目等の概要

(服飾・家政専門課程ファッションデザイン科) 平成26年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			商品素材知識 I	洋服のディテール・シルエット・素材の名称などを学びます。	1通	60	○			○	○			
○			CAD I	パソコンを使い洋服の型紙を制作します。	1通	60		○		○	○			
○			色彩学 I	色彩検定3級取得のための検定対策授業	1通	60	○			○	○			
○			パターン I	洋服の作図を学びシャツ・パンツ・スカート・ジャケットなど洋服の構造の基本を知ります。	1通	90				○	○	○		
○			アパレルデザイン I	デザイン画の基本的な描き方や着色方法・デザイン発想などを学びます。	1通	90				○	○	○		
○			アパレル実習 I	基本的な縫製の方法を学びシャツ・パンツ・スカート・ジャケットなどを製作します。	1通	180				○	○	○		
○			ファッション史	古代から現代に至るまでのファッションの歴史を学びます。	1通	30	○			○	○			
○			FB論 I	アパレル業界の仕組みや流通の流れやアパレル業界動向を学びます。	1通	30	○			○	○			
○			パソコン実習	パソコンを使い前期はワード検定3級取得・後期はエクセル検定取得を目指します。	1通	60		○		○	○			
○			就職実務 I	就職内定にむけた就職指導。企業研究・面接練習・自己PR指導など	1通	90	○			○	○			
○			異文化研究	海外研修バリ・ミラノコース・ロスコースを希望し海外のファッションや文化について学ぶ。また2月には現地に行き実習。	1通	60				○	○	○		
○			イラストレーター	パソコンソフトイラストレーターの操作方法を学び様々な販促物などをデザインします。	1通	90		○		○	○			
○			修了制作	1年間学んだ技術を基にデザイン→パターン→縫製し作品を制作	1後	105				○	○	○		
合計				科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	期
	1学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(服飾・家政専門課程ファッションデザイン科) 平成26年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アパレル企画Ⅰ	商品の企画を外部講師指導のもとデザイン・制作・外部販売までを行います。職業実践専門課程	2通	90			○	○	○	○	○	
○			アパレルデザインⅡ	デザインコンテスト入選にむけデザイン発想とデザイン画を制作します。	2通	90			○	○		○		
○			パターンⅡ	1年次に学んだ技術を基に応用した作図方法を学びます。	2通	120			○	○		○		
○			アパレル実習Ⅱ	裏付きジャケットやコートの既製品レベルの縫製技術を学びます。	2通	180			○	○		○		
○			F B 論Ⅱ	アパレル業界の最近の動向やトレンドについて学びます。	2通	30	○			○		○		
○			C A DⅡ	パソコンを使用した作図方法を学びます。	2通	30		○		○		○		
○			フォトショップ	パソコンソフトフォトショップを使用した操作方法を課題を通じ学びます。	2通	60		○		○		○		
○			ドレーピングⅠ	布地を使った立体製作の方法を学びます。	2通	120			○	○		○		
○			就職実務Ⅱ	就職内定にむけた就職指導。企業研究・面接練習・自己PR指導など	2通	90	○			○		○		
○			英会話	ファッション業界で必要な英会話を学びます。	2通	30	○			○		○		
○			P M 検定対策授業	P M 検定3級取得にむけた対策授業。	2通	60			○	○		○		
○			修了制作	2年間学んだ技術を基にデザイン→パターン→縫製し作品を制作	2後	105			○	○		○		
合計				科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
		1 学年の学期区分	期
		1 学期の授業期間	週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(服飾・家政専門課程ファッションデザイン科) 平成26年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			アパレル企画Ⅱ	商品の企画を外部講師指導のもとデザイン・制作・外部販売までを行います。職業実践専門課程	3通	360			○	○	○	○	○	○
○			アパレル実習Ⅲ	販売目的の洋服を制作します。	3通	210			○	○		○		
○			パターン・ドレーピングⅢ	洋服の作図方法の応用を学ぶ。また高度な立体的裁断の技術を用い作図します。	3通	90			○	○			○	
○			CADⅢ	パソコンを使用した作図方法を学びます。	3通	60		○		○		○		
○			コンペ	コンテスト入選にむけたデザイン画指導。	3通	30			○	○		○		
○			フォトショップⅡ	パソコンソフトフォトショップを使用した操作方法を課題を通じ学びます。	3通	60		○		○			○	
○			就職実務Ⅲ	就職内定にむけた就職指導。企業研究・面接練習・自己PR指導など	3通	90		○		○		○		
○			卒業制作	3年間で学んだ知識の集大成としデザイン→パターン→製作をおこなう。	3後	105			○	○		○		
○			就職実務Ⅱ	就職内定にむけた就職指導。企業研究・面接練習・自己PR指導など	2通	90		○		○		○		
○			英会話	ファッション業界で必要な英会話を学びます。	2通	30		○		○		○		
○			PM検定対策授業	PM検定3級取得にむけた対策授業。	2通	60			○	○		○		
○			修了制作	2年間学んだ技術を基にデザイン→パターン→縫製し作品を制作	2後	105			○	○		○		
合計				科目	単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率が年間授業時間の80%以上になること ・制作課題の規定基準を充たすこと ・当該年度の学費および諸経費を完納すること 	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。